

文 教 科 学 委 員 会

委員一覧（21名）

委員長	高橋	克法（自民）	上野	通子（自民）	斎藤	嘉隆（立憲）
理 事	赤松	健（自民）	臼井	正一（自民）	下野	六太（公明）
理 事	石井	正弘（自民）	末松	信介（自民）	安江	伸夫（公明）
理 事	今井	絵理子（自民）	橋本	聖子（自民）	金子	道仁（維教）
理 事	宮口	治子（立憲）	本田	颯子（自民）	中条	きよし（維教）
理 事	伊藤	孝恵（民主）	奥村	政佳（立憲）	吉良	よし子（共産）
	赤池	誠章（自民）	古賀	千景（立憲）	船後	靖彦（れ新）
						（会期終了日 現在）

（１）審議概観

第213回国会において、本委員会に付託された法律案は、内閣提出 1 件及び衆議院提出 1 件（文部科学委員長提出）の合計 2 件であり、いずれも可決した。

また、本委員会付託の請願21種類334件は、いずれも保留とした。

〔法律案の審査〕

学校教育法の一部を改正する法律案は、専修学校における教育の充実を図るため、専修学校に専攻科を置くことができることとするとともに、専門課程の入学資格の厳格化、専門課程を置く専修学校への自己点検評価の義務付け等の措置を講じようとするものである。

委員会においては、職業教育の重要性、専攻科の具体的制度設計、専修学校在籍者に対する経済的支援の必要性等について質疑が行われ、採決の結果、全会一致をもって原案どおり可決された。なお、附帯決議が付された。

障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等に関する法律の一部を改正する法律案は、障害のある児童生徒のために作成されている音声教材等の教科用特定図書等が、教科書の使用に困難を有する日本語に通じない児童生徒にとっても有用であること等に鑑み、これらの者が教科用特定図書等を使用して学習することができることとなるよう、所要の措置を講じようとするものである。

委員会においては、趣旨説明を聴取した後、採決の結果、全会一致をもって原案どおり可決された。

〔国政調査等〕

3月12日、文部科学行政の基本施策について盛山文部科学大臣から所信を、令和6年度文部科学省関係予算についてあべ文部科学副大臣から説明を、それぞれ聴取した。

3月19日、文部科学行政の基本施策に関し、文化審議会著作権分科会法制度小委員会の「A I と著作権に関する考え方について」を周知啓発する重要性、教員免許を有する大学

院生を教育現場に非常勤講師として積極的に採用することに対する文部科学省の見解、高等教育の修学支援新制度の拡充を多子世帯や理工農系の中間層に限定せずに子供全員を対象とすることを検討する必要性、「旧統一教会」関連団体の推薦確認書への署名をめぐる問題についての文部科学大臣の見解等について質疑を行った。

3月22日、文教科学行政の基本施策に関し、令和6年能登半島地震により被災した地域に対する教職員の加配措置の必要性、予測不可能な世界情勢を踏まえて積極的に平和教育を位置付ける観点から学習指導要領を見直す必要性、子供をフリースクールに通わせる保護者を就学義務違反とすることが教育基本法の立法趣旨からかい離していることについての文部科学省の見解、ヤングケアラー問題等の子供を取り巻く課題を踏まえて養護教諭を配置する必要性等について質疑を行った。

また、同日、予算委員会から委嘱された令和6年度文部科学省所管予算の審査を行い、火山調査研究推進本部の設置に向けた準備状況及び今後の火山対策の強化に向けた取組状況、小学校において医療的ケア児の保護者の付添いが発生している実態に対する文部科学省の見解、小中学校等における防災教育の実施状況及び過去の災害を踏まえ国が行ってきた防災教育の充実のための取組、大学院等を修了し教師になった者に対する奨学金の返還免除についての詳細、スポーツ選手が中長期的なキャリア形成や引退後の生活設計を学ぶ場を支援する必要性、地域の子供たちの役に立ち社会課題の解決にも貢献したいと考える地域人材の育成のためのリカレント教育を文部科学省が推進する必要性、高等教育の修学支援新制度に係る学業成績の要件を見直す必要性、紙の教科書及びデジタル教科書それぞれの適正な価格設定の在り方等について質疑を行った。

4月18日、これからの高等教育の在り方を構想し社会と共有した上で大学の再編等の高等教育の整備を図る必要性、35人学級の中学校への拡充を文部科学省の方針として掲げる必要性、1人1台端末を利用した環境教育として環境省の「いきものログ」アプリを活用することに関する文部科学大臣の見解、NPO法人多様な学びプロジェクトによる「不登校のこどもの育ちと学びを支える当事者実態ニーズ全国調査」に対する評価、インターネット上の性的な描写を含む広告が子供に及ぼす影響、スクールカウンセラーの雇い止めに関する実態把握のための調査の必要性、高等学校入試での定員内不合格をなくし学ぶ意欲がある生徒全員を受け入れるよう各都道府県教育委員会等へ働きかける必要性等について質疑を行った。

5月21日、学校現場における子供のコロナ後遺症の現状、各教育委員会による学校における教員の働き方改革の取組に関する文部科学大臣の認識、障害のある不登校児童生徒に対する支援としての放課後等デイサービスの加算にとどまらず不登校児童生徒全般に対する経済的支援を開始することについての文部科学大臣の見解、我が国の民主主義教育に対する文部科学大臣の認識、基礎定数の改善や教員の持ち授業時数の上限を設けることが中央教育審議会初等中等教育分科会質の高い教師の確保特別部会の「審議のまとめ」に盛り込まれていない経緯、通常学級に在籍する障害のある児童生徒に対する合理的配慮及び個別支援を保障する必要性等について質疑を行った。

5月30日、教育に関する実情調査のため、千葉科学大学を視察した。

6月4日、場面緘黙に関する省庁間の情報共有・連携や現場の教員に対する研修等の実

施の重要性、私立大学を公立大学法人化するメリット・デメリット、いじめの加害側が分からない場合及び指導をしてもいじめの事象が止まらない場合の対処方法、スポーツ選手及び芸術家等の引退後のキャリア支援の必要性、大学が経営破綻した場合の学生保護のルールを検討状況、国立大学の授業料値上げでは私立大学との格差は是正されないとの指摘に対する文部科学省の見解、不登校児童生徒が学校において健康診断を受けられていない実態の把握状況等について質疑を行った。

6月6日、前記視察について、視察委員から報告を聴取した。

6月11日、教員の時間外勤務に対して時間外勤務手当を支給する必要性と教職調整額の位置付け、「文化芸術分野の適正な契約関係構築に向けたガイドライン」策定後の状況と今後の課題、下校時の熱中症対策が手薄ではないかとの懸念に対する文部科学大臣の所見、コロナ後遺症となった児童生徒に対する理不尽な取扱いを学校において行わないとともに学びの保障を徹底することに関する文部科学大臣の見解、公立高等学校では負担する必要のない施設整備費を私立高等学校では保護者が負担するという公私格差を解消するために私学助成を拡充する必要性等について質疑を行った。

(2) 委員会経過

○令和6年3月12日(火) (第1回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 教育、文化、スポーツ、学術及び科学技術に関する調査を行うことを決定した。
- 文教科学行政の基本施策に関する件について盛山文部科学大臣から所信を聴いた。
- 令和6年度文部科学省関係予算に関する件についてあべ文部科学副大臣から説明を聴いた。

○令和6年3月19日(火) (第2回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 文教科学行政の基本施策に関する件について盛山文部科学大臣、高橋農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

赤松健君（自民）、下野六太君（公明）、吉良よし子君（共産）、舩後靖彦君（れ新）

○令和6年3月22日(金) (第3回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 文教科学行政の基本施策に関する件について盛山文部科学大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

古賀千景君（立憲）、宮口治子君（立憲）、金子道仁君（維教）、伊藤孝恵君（民主）

○令和6年度一般会計予算（衆議院送付）

令和6年度特別会計予算（衆議院送付）

令和6年度政府関係機関予算（衆議院送付）

（文部科学省所管）について盛山文部科学大臣、あべ文部科学副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

赤池誠章君（自民）、古賀千景君（立憲）、宮口治子君（立憲）、下野六太君（公明）、中条さ

よし君（維教）、伊藤孝恵君（民主）、吉良よし子君（共産）、舩後靖彦君（れ新）
本委員会における委嘱審査は終了した。

○令和6年4月18日（木）（第4回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 高等教育の在り方に関する件、教職員定数の改善に関する件、1人1台端末を活用した環境教育に関する件、不登校の要因分析に関する件、性的な描写を含むインターネット広告の子供への影響に関する件、スクールカウンセラーの処遇に関する件、高等学校の入試における障害のある生徒への合理的配慮に関する件等について盛山文部科学大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

上野通子君（自民）、斎藤嘉隆君（立憲）、下野六太君（公明）、金子道仁君（維教）、伊藤孝恵君（民主）、吉良よし子君（共産）、舩後靖彦君（れ新）

○令和6年5月21日（火）（第5回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- コロナ後遺症に係る文部科学省の取組に関する件、教員の働き方改革に関する件、不登校児童生徒への経済的支援に関する件、我が国の民主主義教育に関する件、教職員定数の改善に関する件、インクルーシブ教育の推進に関する件等について盛山文部科学大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

宮口治子君（立憲）、古賀千景君（立憲）、金子道仁君（維教）、伊藤孝恵君（民主）、吉良よし子君（共産）、舩後靖彦君（れ新）

○令和6年6月4日（火）（第6回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 場面緘黙への対応に関する件、千葉科学大学の公立大学法人化に関する件、いじめ事案への対応に関する件、スポーツ選手及び芸術家等の引退後のキャリア支援に関する件、大学が経営破綻した場合の学生保護に関する件、国公立大学の学費に関する件、不登校児童生徒の健康診断に関する件等について盛山文部科学大臣、三浦厚生労働大臣政務官、古賀内閣府大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

今井絵理子君（自民）、古賀千景君（立憲）、下野六太君（公明）、中条きよし君（維教）、伊藤孝恵君（民主）、吉良よし子君（共産）、舩後靖彦君（れ新）

- 学校教育法の一部を改正する法律案（閣法第35号）（衆議院送付）について盛山文部科学大臣から趣旨説明を聴いた。

○令和6年6月6日（木）（第7回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 学校教育法の一部を改正する法律案（閣法第35号）（衆議院送付）について盛山文部科学大臣及び政府参考人に対し質疑を行った後、可決した。

〔質疑者〕

臼井正一君（自民）、宮口治子君（立憲）、下野六太君（公明）、金子道仁君（維教）、伊藤孝恵君（民主）、吉良よし子君（共産）、舩後靖彦君（れ新）

（閣法第35号）

賛成会派 自民、立憲、公明、維教、民主、共産、れ新

反対会派 なし

なお、附帯決議を行った。

- 教育に関する件について委員から報告を聞いた。

○令和6年6月11日(火) (第8回)

- 障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等に関する法律の一部を改正する法律案(衆第18号)(衆議院提出)について提出者衆議院文部科学委員長田野瀬太道君から趣旨説明を聞いた後、可決した。

(衆第18号)

賛成会派 自民、立憲、公明、維教、民主、共産、れ新

反対会派 なし

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 教員の長時間労働の解消策に関する件、芸能従事者に係る契約関係の適正化に関する件、通学時の熱中症対策に関する件、コロナ後遺症に係る学校の対応に関する件、私立高等学校への私学助成の拡充に関する件等について盛山文部科学大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

勝部賢志君(立憲)、中条きよし君(維教)、伊藤孝恵君(民主)、吉良よし子君(共産)、船後靖彦君(れ新)

○令和6年6月21日(金) (第9回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 請願第14号外333件を審査した。
- 教育、文化、スポーツ、学術及び科学技術に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。